

第9回 電磁界情報センター運営委員会 議事録

1. 日時：平成24年3月6日（火） 10：00～12：05
2. 場所：全日電工連会館 3階会議室
3. 出席者：浅野委員長、日和佐副委員長、木下委員、小島委員、小林委員、
飛田委員、藤村委員、山根委員
(事務局) 一般財団法人電気安全環境研究所 末廣理事長
電磁界情報センター 大久保センター所長
4. 議事次第：
 - (1) 定足数の確認報告
 - (2) 理事長挨拶
 - (3) 【審議】運営委員会委員長の選任について
 - (4) 【審議】第8回電磁界情報センター運営委員会でのご意見への対応について
 - (5) 【報告】平成23年度予算執行状況について
 - (6) 【報告】平成23年度業務実績について
 - (7) 【審議】電磁界情報センターの平成24年度中期業務計画について
 - (8) その他
5. 配付資料
 - ・運営9-1 運営委員会 委員名簿
 - ・運営9-2 第8回電磁界情報センター運営委員会 議事録(案)
 - ・運営9-2付 第8回電磁界情報センター運営委員会でのご意見への対応(案)
 - ・運営9-3 平成23年度予算執行状況
 - ・運営9-4 平成23年度業務実績の概要
 - ・運営9-5 平成24年度中期業務計画(案)
 - ・参考 電磁界情報センター運営委員会規定

6. 議事内容

(1) 定足数の確認報告

- ・ 事務局より前回の運営委員会での渡邊前委員長から受けた委員辞任の申し出に対し、2月22日付けで委員を解職したことが報告された。
- ・ 電磁界情報センター運営委員会規程第5条第2項にもとづき、運営委員8名全員の出席により、第9回運営委員会は成立した。

(2) 理事長挨拶

- ・ 原子力発電所事故の影響で、放射線リスクに対する国民の関心が高まっているが、電磁界についても日頃からの情報提供が大切であると感じている。今回の委員会は、今年度の事業報告が主たる議事であるが、ご指導・ご鞭撻をお願いしたい旨の挨拶があった。

(3) 運営委員会委員長の選任について

- ・ 事務局より、運営委員会規定では委員長は、委員の互選による選任されるとの説明があった。
- ・ 話し合いの結果、浅野委員が新委員長に就任した。

(4) 第8回電磁界情報センター運営委員会でのご意見への対応について

【審議】

- ・ 事務局より、第8回電磁界情報センター運営委員会議事録（案）については、事前に各委員に内容確認を受けているので説明を省略したいとの説明があった。
- ・ また、事務局より資料運営9-2付について説明があった。

【審議結果】

- ・ 第8回運営委員会議事録およびご意見への対応方針案について、特段の異議はなく了承された。

(5) 平成23年度予算執行状況について【報告】

- ・ 事務局より資料運営9-3について説明があった。

【質疑】委員の主な発言は以下のとおり。（→は事務局回答）

- ・ 電磁界フォーラムなどは、内容的に良いプログラムであり予算的にも相応の支出をしていると思うが、出席者が思いの他少ないような気がする。どのような情報宣伝を行っているのか。

→電磁界フォーラムは、特定のテーマに絞った深い内容のため、一般の方には少し難しいイベントである。したがって、新聞広告などによる一般の方向けの広報は行っていない。ホームページの他、関係しそうな学会や関心の高そうな分野の方々などに個別にご案内をしている。そうした点でやや参加者数が少なかったものと思われる。来年度以降は、さらに情宣個所や分野を拡大し、できるだけ多くの方々に参加してもらえるよう努力したい。また、予算上もより効果的・効率的なフォーラム実施を検討したい。

- ・ 運営委員会からの意見も踏まえ、磁界測定プロジェクトに当初計画を上回る予算を計上されたようだが、今実施中の電気自動車の磁界測定においては、充電器周辺の測定などもできれば実施してほしい。
- 今月予定している現地測定では、充電器周辺の測定は計画していないが、今回の測定結果を踏まえさらなる測定について検討していきたい。

(6) 平成 23 年度業務実績について【報告】

- ・ 事務局より資料運営 9-4 について説明があった。

【質疑】委員の主な発言は以下のとおり。(→は事務局回答)

- ・ 詳細調査で「スマートメーター調査」を実施したようであるが、少し内容を紹介してもらえないか。
 - 米国カリフォルニア州のスマートメーターから発生する高周波電磁界の問題を調査した。カリフォルニア州ではスマートメーターの設置が終盤を迎えているが、スマートメーターによる電気料金の誤検針疑惑から話が発展し、プライバシー、サイバセキュリティ、そして電磁界の健康影響の可能性などが取り上げられている。調査は規制当局、電気事業者、研究機関、スマートメーターに反対する自治体などに出向きインタビューをした。総じて電気事業者のコミュニケーション不足が、問題を拡大させた主たる要因と思われた。
- ・ 太陽光パネルや電気自動車など新時代に対応した磁界測定もとても良い事業だと思うが、既存のもので一般市民が不安や高い関心を占めているものを測定することも考えてはどうか。また、測定して整理したデータはマスメディアを通じて公開していくことが、一番効果的な情報提供になるのではないか。

- 例えば、一般市民の関心の高い携帯電話や家電製品などの設備や製品については、それぞれの分野で測定が行われ論文などで公開されている。限られた予算の電磁界情報センターとしては、あまり取り組まれていなかったり、公開されたデータが少ない分野に絞り込んで測定を行っていきたいと考えている。得られたデータの公開方法については、ご提案のあったマスメディアを通じた提供方法について、具体的に検討してみたい。
- 今年度はマスコミからの取材件数が多かったようであるが、結果として報道内容は適正であったのか。
 - 電磁界情報センターがコメントを求められた番組については、概ね取材時の内容で報道してもらえたと思う。しかし、マスメディア全体ということでは科学的な正確性を欠いた内容が散見された。
 - そのような報道が見られる中で、国民の電磁界リスクに対する認知の変化を調査しようとしている。非常に難しいように思うが、どのような方法を探ろうとしているのか。
 - 基本的には、これまで実施したセミナーで回収したアンケートを基に電磁界情報センターの講演の短期的なリスク認知への介入効果を多変量解析したいと考えているが、可能であればアンケート回答者への追跡調査を実施して、中・長期的なリスク認知への介入効果を評価できないかと考えている。
 - アンケート調査はオーソドックスな方法であるが、より深く考察しようとするれば、個別のインタビュー調査なども必要になるかもしれない。
 - そもそも論になってしまうが、個人の不安を解消させたり、リスク認知を変えることにコストをかけるのは意味があるのか。今般の放射線に対する国民の反応を見ていると、心配なら心配なりの行動をとれば良いのではないかと感じてしまう。大事なものは、あるリスクを減らすために社会的コスト（税金）を投入する場合に、どのような人が何を言っているかを勘案することで、直接、個々人の不安解消にコストをかけるのは非効率という気がするがいかがだろうか。
 - ご意見のとおり側面もあるが、誤ったリスク認知を放置することで、適正な社会コストの投資が阻害されたり、一部の過剰なリスク認知を持った人の影響で、他の人が迷惑を被るということは避けたいところ。その意味では、地道な情報提供活動は必要と考えている。ただし、効率とい

う点ではご指摘のとおり、確信的な思いを持った人を対象としてはコストの割に成果が出にくい。よって、電磁界情報センターでは、漠然とした電磁界不安を持っている一般市民を主な対象に活動を進めていく方針としている。

- 人間には二つの情報処理システムがあり、一次系はいわゆる直感的なもので、人類がさまざまな危険を回避するために備えてきた潜在的な感覚。好き嫌いという感覚。これを変えようとするのは至難の業。二次系の処理は、さまざまなデータや説明を聞いて一次系の認知を理屈で裏付けようとする処理。この二次系の処理に影響を与えるということはできると思う。ただし、数値で表せる「科学的リスク」の認知を変えられたとしても、そのリスク（例えば、放射線）には、関連した「行政上のリスク」や「政治的リスク」も存在するので、現実には、話は複雑である。
 - 放射線に関して言えば、子育て中の母親の立場であれば、不安な気持ちになるのは当然で、できるだけ放射線の少ない食品を選択したいということも理解できる。そうした感情と客観的なリスクのギャップをどう埋めていくかは、確かに難しい課題である。
 - P11 のセミナー実績で4月部分に開催地ではなく数値が入っているが？
→記述ミスである。「豊橋」が正しい記述。
 - 電磁過敏症や電磁波攻撃に関する問い合わせに関して、最大 150 分の対応を行ったと記載されているが、およそ常識的には考えられないが正しい記述か。
→正しい記述である。
 - 電磁界では無いが、同じような事例を知っている。4時間電話対応したケースもあったとのこと。そうした対応にはノウハウもあるので、前回の運営委員会の際に、勉強してみたらどうかと提案させてもらったもの。
 - 長時間の対応を行っている人は、活動家タイプの方なのか。
→そのようなことは無い。純粹に過敏症や攻撃を受けていると思っっている方々である。
- (7) 電磁界情報センターの平成 24 年度中期業務計画について【審議】
- 事務局より資料運営 9-5 について説明があった。また、24 年度の具体的な業務計画は次回運営委員会で提案するとの説明があった。

【質疑】委員の主な発言は以下のとおり。(→は事務局回答)

- ・ 電磁界情報センターの事業は、事業目的や目標をどこに置くかということを決めて計画をしてほしい。そして目標・目標設定は、あまり難しい話ではなく、電磁界に関する専門機関として持っている情報をできるだけ提供していくという素直なもので良いかと思う。例えば、磁界測定器の貸出しについて言えば、リスクコミュニケーション効果検証というよりは、磁界レベルを知る場をできるだけ多く提供するというシンプルなもので良いのではないかと思う。

→電磁界情報センターの理念である、科学的情報をできるだけ分かり易く提供するという原点を常に意識して業務計画を検討していきたい。

【審議結果】

- ・平成24年度中期業務計画は了承された。

(8) その他

- ・特に審議事項・報告事項は無かった。

以 上